



第3回計算科学シミュレーションシンポジウム

■日 時： 2012年4月25日(水) 10:00~17:00

■場 所： 日本学術会議講堂 (東京都港区六本木7-22-34,
東京メトロ千代田線「乃木坂」駅から徒歩3分)

■開催趣旨： 計算科学シミュレーションの最後の砦である「心と脳」の領域に計算科学シミュレーションがどのように迫れるかを本分科会の「心と脳など新しい領域検討小委員会」で検討を進めている。この新しい分野の方向を定めるために、IACM(世界計算力学会議)の矢川元基会長(学術会議連携会員)から基調講演を頂く。次に既に多くの領域に応用され「心と脳の領域」にも応用が期待される「現象数理学」の創始者である三村昌泰教授に基調講演を頂く。そして小委員会の話題を取り上げ、本分野の今後の方向を探る場とする。皆さまの積極的な御参加を願いたい。

プログラム

- 10:00 開会挨拶： 矢川元基 (学術会議、東大名誉教授、東洋大教授・計算力学センター長)
- 10:10 基調講演1 矢川元基
「計算科学技術における我が国の貢献」
- 11:00 基調講演2 三村昌泰 (明治大学教授、先端数理科学研究科科長、先端数理科学インスティテュート所長)
「自己組織化のモデリング支援分析」
- 11:50~13:15 休憩
- 13:15 合原一幸 (東京大学教授)
「複雑系数理モデリングとその応用」
- 13:45 渡辺富夫 (岡山県立大学教授)
「人を引き込む 身体性メディア場の生成・制御技術」
- 14:15 大富浩一 (学術会議、(株)東芝、)
「音のデザイン」
- 14:45 北岡裕子 ((株)JSOL)
「横隔膜と心と脳」
- 15:15~15:30 休憩
- 15:30 杉山将 (東京工業大学准教授)
「確率密度比を用いた統計的機会学習の新たなアプローチ」
- 16:00 内藤健 (早稲田大学教授)
「微生物・発生・脳神経・癌医学を再統合する統計熱流体力学」
- 16:30 萩原一郎 (学術会議、東京工業大学教授、計算科学シミュレーションと工学設計分科会委員長)
「心と脳など新しい領域」の今後の展開について」
- 16:50 閉会挨拶： 萩原一郎

■主 催： 日本学術会議総合工学委員会・機械工学委員会合同
計算科学シミュレーションと工学設計分科会

■共 催： 日本機械学会、日本応用数理学会、日本計算工学会、日本シミュレーション学会、
JACM(Japan Association for Computational Mechanics)、
日本算数理工学会、アジア太平洋計算力学連合、国際計算力学連合

問い合わせ先

東京工業大学 大学院理工学研究科機械物理工学専攻 萩原研究室 (中山)

TEL/FAX 03-5734-3555 E-MAIL:nakayama.e.aa@m.titech.ac.jp

※事前登録必要無し、参加費無料